

（財）相模原市みどりの協会主催の「クレマチス講習会」で講師を務める金子明人さん。協会が発行するパンフレット「クレマチスの育て方」の監修もお願いしています。そのほかにも本や雑誌の執筆、NHKの「趣味の園芸」に講師として出演するなど、多方面で活躍する金子さんにお話を伺いました。

協会の「クレマチス講習会」が始まったのが平成七年。その修了生によって同好会「相模原クレマチスの会」が作られました。現在、会員たちは相模原麻溝公園のクレマチスの手入れをボランティアで行っていて、金子さんは会の顧問として指導にあたっています。クレマチスの細いつるの一本一本をていねいに支柱に結んでいくその姿を見ていると、植物を大切に思う気持ちが伝わってくるようです。

クレマチスにひかれ約二十年の歳月を経てなお「興味は尽きない」といいます。自宅にも集めたクレマチスが三〇〇から四〇〇種類ほど。「足の踏み場もない庭で、家族もあきれいています。まったくの道楽ですね」と笑う金子さんです。



凛と咲き、静かに散る。その姿が美しい。

子どもの頃も学生時代も植物とともに

父が盆栽、母が草花が好きで、幼い頃から植物が身近にある環境に育ったせいなのか、私もいつの間にか興味を持っていったんだと思います。いつも手にしていた植物図鑑はすぐにボロボロになるので、同じものを必ず2冊買っていた。と今でも母などはその当時のことを話題にします。

高校では生物部に所属し、帰化植物を研究するグループに入り、アから羊毛を輸入して加工していた会社があつて、その周辺には海外の珍しい雑草が生えているんです。羊毛を洗った時に付いていた種が落ちて根付いたんですね。そのほか研究したもので、浅間山のオオバコ登山というのもありました。山には生息しないはずのオオバコが生えているんです。それも中腹の休憩所に近いことから、登山者の靴の泥に種が付着して一緒に登山したと考えられます。このように植物の辿る道などを研究していくうちに、ますますおもしろくなってきました。大学でも園芸を専攻し、植物の繁殖について勉強し、以来、仕事でもずっと植物と関わっています。

多様な変化を見せるから興味は尽きない

クレマチスに関心を持ったのは学生時代からです。バラやキク、カーネーションなどはある程度研究が尽くされていると当時はいわれていましたから、まだ未知数のクレマチスならやりがいがあると思いました。



●クレマチスの会による公園ボランティアにて



●クレマチス講習会で講義中

偶然にも「日本クレマチス協会」の事務局が私の住んでいる船橋にあったんです。私のクレマチスの師である猪野泰三先生ともそこで出会いました。いろいろなことを教わるうちに、どんどんのめり込んでいきました。次第にネットワークもできて、わずか二年で私のものには五〇種ものクレマチスが集まりました。

原種の数も多く、新種を合わせると海外の文献には二万種以上も登録されています。つるの原種でもさまざまな変化していて、これはなんだ、と思うようなものまであるんです。それでもまた興味がわいてくるんです。とてもクレマチスとは思えない、ホタルブクロやダリアみたいな形のものもあるんですよ。共通点といえば、花が散ったあと種ができる時の形がほぼ同じなと、根の匂いが同じくらいでしょうかな。

クレマチスの人気が高まったのも、日本にもともとあった「カザグルマ」がヨーロッパに渡って品種改良されたからです。

金子明人（かねこ あきひと）
五十六年千葉県船橋市生まれ。同在住。グリーンアドバイザー。日本クレマチス協会理事、NHK「趣味の園芸」や「相模原市みどりの協会」クレマチス講習会などで講師を務める。主婦の友社「クレマチス」の植物監修をはじめ、園芸雑誌の執筆など多方面で活躍。



CLEMATIS FAIR
5/12sat-13sun
Sagamihara Asamizo Park

Festival of Flowers 2001

HYDRANGEA FAIR
6/16sat-17sun
Sagamihara Kita Park and
Sagamihara Asamizo Park



クレマチスフェア

5/12土-13日

相模原麻溝公園

相模原麻溝公園のフェンス1700mにわたって咲くクレマチス。その数はおよそ200種類、7000株にも及び、日本一の規模といわれます。今年も色とりどりの笑顔を咲かせてお待ちしています。ご家族お揃いでぜひご来園ください。

アジサイフェア

6/16土-17日

相模原北公園・相模原麻溝公園

昨年に引き続き、今年も相模原北公園、相模原麻溝公園でアジサイフェアが同時開催されます。期間中、各公園をつなぐ巡回バスも運行され、みなさまのご来園をお待ちしています。梅雨空に清涼のひとつときのアジサイツアーをお楽しみください。

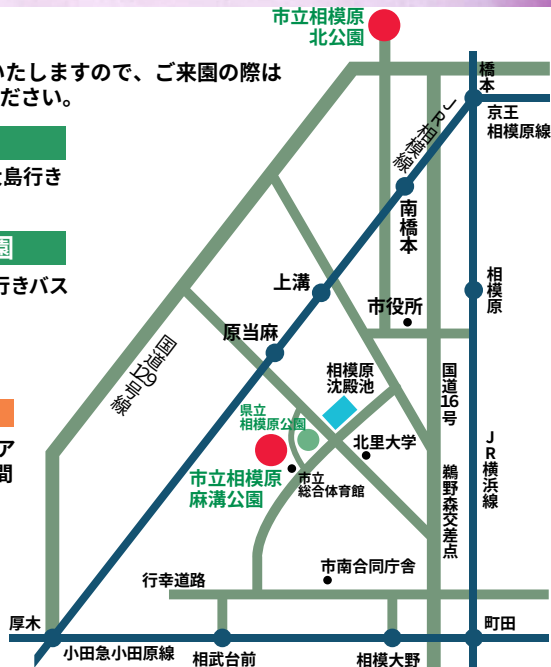
●各フェアとも会場周辺が大変混雑いたしますので、ご来園の際はバスなどの公共交通機関をご利用ください。

相模原北公園
●JR橋本駅南口からバス（橋36）上大島行き「九沢自治会館前」徒歩5分

相模原麻溝公園・県立相模原公園
●小田急相模大野駅から女子美術大学行きバス「総合体育館前」徒歩2分
●JR相模原駅から相武台前駅行きバス「総合体育館前」徒歩2分

ご注意
※6月16日・17日開催のアジサイフェアのみ、相模原北公園と相模原麻溝公園間の巡回バスを運行します。

経路 ●北公園ー麻溝公園



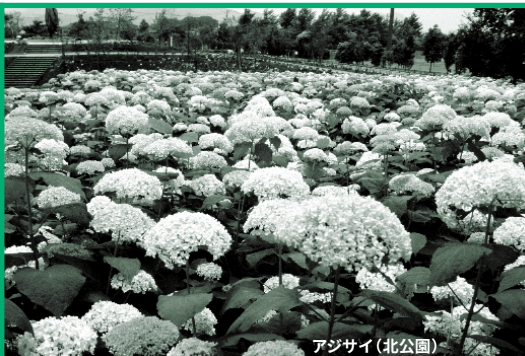
平成13年度事業概要

財団法人 相模原市みどりの協会

『緑』は、私たちの暮らしに潤いを与えてくれるばかりでなく、私たちの将来の環境にとって、欠くことのできない大切なパートナーとなりつつあります。緑を守り、次世代につなげていくことは、この時代に生きる私たちの役目ではないでしょうか。財団法人相模原市みどりの協会では、緑ある豊かな街づくりを推進するため、さまざまな事業を展開しています。



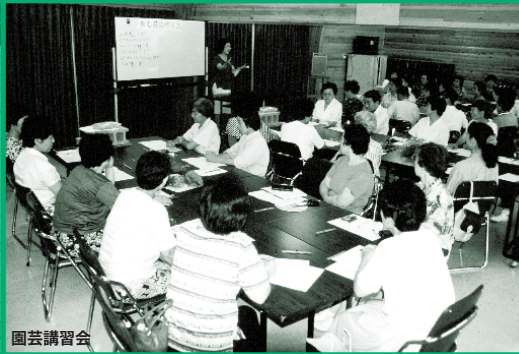
自然観察会



アジサイ (北公園)



フラワーロード事業 (チューリップ)



園芸講習会



クレマチス (麻溝公園)

公益事業の部／1

緑化意識の普及啓発に関する事業

■市の花アジサイ普及事業

今年も相模原北公園と相模原麻溝公園で開催される「アジサイフェア」において、障害者地域作業所で育成された「アジサイ」の挿し木苗2,000株を無料配布します。

■クレマチス普及事業

品種や株数、植栽面積で世界的な規模を誇る相模原麻溝公園の「クレマチス」。このクレマチスを公園の花として市民の方に一層親しんでいただくため、講習会・モデル植栽事業を通じてクレマチスの普及を進めます。

■「生垣見本園」事業

相模原市緑化センター内にモデル生垣(23種類)を植栽し、身近なみどりとして親しまれている生垣を紹介しています。

相模原市緑化センター 相模原市田名10,507 電話042(778)3288

■花と植木に関する園芸相談

花や樹木への理解を深め、園芸の楽しさ、大切さを知っていただくため、地域に密着した園芸教室などを協会と公民館の共催事業として実施します。詳細は、各公民館などでお知らせします。

■「みどりの少年団」の育成

みどりに親しみ、みどりを守り育て、愛する精神は、少年期から養うことが大切です。みどりに関する学習会活動、奉仕活動、レクリエーション活動などを目的として平成5年に結成された「相模原市みどりの少年団」の活動を支援し、育成を図ります。

■花のふれあいサービス

老人ホームなどの福祉施設に、年2回メッセージを添えた季節の花をお届けし、花とのふれあいを楽しんでいただきます。

公益事業の部／2

都市緑化の推進に関する事業

■花のまちづくり・みどりいっぱい運動

都市緑化の推進を図るため、自治会、子ども会、幼稚園などを対象に花の苗、球根、苗木などを配布し、花のまちづくりを進めます。また、緑地協定締結区域において、シンボルツリーなどの苗木を植樹するための助成を行います。

■生垣設置助成事業

地域緑化活動の一環として、身近なみどりである「生垣」を新規に設置する場合に奨励金を交付します。右頁の応募方法をごらんください。

■フラワーロード事業

市内を南北に縦断する「横浜水道みち」で、市民のみなさんがコスモスやチューリップを育て、街の中に「花の道」を作る事業を進めます。

■「みどりのバンク」事業

樹木や草花、種、苗などのみどりを譲りたい方、譲り受けたい方の相互の情報を提供します。みどりの協会事務所(相模原麻溝公園管理事務所内)や相模大野中央公園パークハウス(管理事務所)に「花とみどりのインフォメーション・ボード」を設置し、みどりの情報を提供します。

公益事業の部／3

機関紙その他印刷物の刊行

■緑化啓発ポスターの作成

4月(春のみどりの月間)、10月(秋のみどりの月間)の2回緑化啓発ポスターを作成・掲示します。

■協会紙「グリーン」の発行

協会が実施する緑化事業の紹介や都市緑化に関する情報を掲載する機関紙を発行します。

■園芸豆鑑鑑の発行

園芸植物の由来や育て方、品種などを解説したパンフレットを発行します。

■ホームページの設置 (URL http://www.sagamihara-green.or.jp/)

「みどりのバンク」や機関紙「グリーン」などの情報をインターネットのホームページでお知らせします。

公益事業の部／4

講習会、講演会、展示会、その他催し物の開催

■自然観察会の開催

身近な植物などを学ぶために、自然観察会を開催します。詳細は、広報さがみほらなどでお知らせします。

■園芸講習会の開催

県立相模原公園「緑の相談所」との共催事業として、園芸に関する講習会を実施します。右頁の年間予定表をごらんください。

■公園フェアなどの開催

相模原麻溝公園「クレマチスフェア」など市内の公園で実施される行事を市と共催し、協会のPR・緑化意識の高揚を図ります。

公益事業の部／5

市街地の緑地及び緑地保全地区の保全に関する事業

■「木もれびの森」美化運動

相模原近郊緑地特別保全地区内の樹林地(木もれびの森)の清掃を市民のボランティア活動により実施します。

■緑地等保全啓発事業

市内に残された緑地を将来に渡り保存し、有効に活用して行くための啓発事業を実施します。

公益事業の部／6

公園施設等の受託事業

■公園施設等受託事業

市から公園・緑地などの管理を受託し、利用サービスの向上を図るなど適正な管理を行います。

受託公園等

●相模原麻溝公園 (スポーツ広場芝生管理業務含む)
●道保川公園 ●相模原北公園 (スポーツ広場芝生管理業務含む)
●相模大野中央公園 ●相模原中央緑地

■緑のボランティア育成事業

ボランティア参加型の緑地管理を推進するため、リーダーの育成とグループ化の支援をします。

収益事業の部

売店・自動販売機等の経営

相模原麻溝公園などに売店・自動販売機を設置し、公園を利用する方の利便を図ります。

(財)相模原市みどりの協会 生垣設置助成事業

「生垣」で環境に優しく潤いのある街づくり

新しく「生垣」をつくる場合、助成をします。

生垣が作り出す緑の壁は、ブロック塀にはない、潤いある緑豊かな空間をつくるだけでなく、地震や火災などの災害時には延焼防止の役割も果たします。みどりの協会では、新しく生垣を設置される方に奨励金を交付しています。この機会に生垣をつくってみませんか。



●対象

- 次のすべてに該当すること。
①市内の戸建住宅(店舗併用住宅も可)又は共同住宅の用地内に新たに生垣を設置すること。
②その生垣が幅4m以上の公道に接していること。
③生垣の長さが3m以上であること。
④市民税を完納していること。

●植栽の基準

樹木の種類は、生垣に適したもので、原則としてみどりの協会が推奨するもの。樹木の高さは90cm以上、本数は、1mあたり3本以上とする。

●奨励金額

1mあたり5,000円で、10万円を限度額とします。ただし、共同住宅についてはお問い合わせください。

●手続き

みどりの協会、市役所みどり対策課などにある申請書でみどりの協会へ(案内書もあります)。

●添付書類等

- ①植栽予定地の写真
②市民税の納税証明書、領収書など

区分	申請日	税の対象年度
個人	4/1~9/30	前年度
	10/1~3/31	今年度
法人	全期間	直近の年度

〈ご注意〉

※新たに生垣をつくる人が対象で、作り替えは対象になりません。
※奨励金を受けるには、事前に申請をして交付決定を受けなければなりません。

〈お問い合わせ〉

財団法人相模原市みどりの協会
TEL.042-777-2860 (相模原麻溝公園内)

生垣見本園

みどりの協会では、相模原市緑化センター内に23種類のモデル生垣と竹垣設置した「生垣見本園」を開設しています。生垣作りの参考にぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか。(入場無料)



相模原市緑化センター
TEL042-778-3288 相模原市田名10,507

平成13年度 園芸教室 予定表

みどりを育む心を応援するため県立相模原公園「緑の相談所」と共催で園芸教室を開いています。園芸の基本から楽しみ方まで、いろいろ選べて学べる内容が盛りだくさんです。

5月	13 菊の鉢作り(1) 27 鉢で楽しむバラ栽培(春夏)	11月	11 実物を楽しむ庭木 25 写真手紙の勧め
6月	10 庭木...挿し木の仕方 24 ハーブ夏に向かって	12月	9 サボテンとのつき合い方
7月	8 菊の鉢作り(2) 22 植物写真の撮り方(1)	平成14年	
8月	5 植物写真の撮り方(2) 19 野菜...これからの作業	1月	13 家庭果樹のせん定法 27 土と肥料を考える
9月	9 菊の鉢作り(3) 23 洋ランとのつき合い方	2月	17 楽しい押し花(1) 24 楽しい押し花(2)
10月	7 山野草...秋 21 鉢で楽しむバラ栽培(秋冬)	3月	10 山野草...株分けと植替 18 ハーブ春の作業

●講習日、講習内容はともに予定のため、都合により変更になることがあります。毎月発行の「広報さがみほら」でご確認のうえお問い合わせお申し込みください。

公園の花

相模原麻溝公園

ミズキ科落葉中高木
花期 4月中旬~5月

春、ソメイヨシノが散り終わる頃に咲くハナミズキ。明治時代の終わりに、東京からワシントンに桜を寄贈。そのお礼に日本に伝わったのが、北アメリカ原産のハナミズキ。4枚の花びらのようにみえるのは、総苞(そうほう)で、その中にある雄しべのようにみえるのが、実は花。花、実、紅葉、冬のしなやかな枝など、四季の変化が楽しめる。街路樹、一般家庭のシンボルツリーとしても、人気があります。別名アメリカヤマボウシ。



ハナミズキ(花水木)

●アサガオの種まき

アサガオの種まきは、八十八夜すぎといわれ、5月の連休明けが最適。種皮が厚く固いので、皮をナイフで傷つけ、一晩水に浸した後にまくと、よく発芽します。種のヘソ(白い部分。発根部)を下に向け、深さ1cmくらいでまきます。江戸時代には、桔梗咲きのような変化咲きアサガオが流行し、メンデルの法則が発見される以前に、この法則を美学的に利用し、品種改良を行っていました。アサガオは、多種多様の品種があります。今年は、アサガオの種をまいてみませんか。

園芸ひとくちメモ



みどりの協会のホームページ

みどりのネットワークにアクセス!!

ただ今みどりの協会ホームページでは、みどりのクイズ「アサミソ・パーク・マスターへの道」を掲載しています。毎月クイズに答えて、一年後にはあなただけのアサミソ・パーク・マスター。すてきな副賞もご用意しています。詳しくはホームページをごらんください。

URL●http://www.sagamihara-green.or.jp/